

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議への地域の方の参加が難しい。	地域の方に参加いただき、外部からの意見もホームの運営に取り入れる。	地域で催される行事に積極的に参加し、ホームの行事も告知する。入居者、職員を認知していただき、相互交流を図る。	6ヶ月
2	35	地域には工場が多く、交流が少ない。	ホーム独自で行なう消防訓練に参加していただく。	近隣の工場を把握し、顔出し、挨拶に行くことでホームの存在、状況を理解していただく。近隣のためにもなる訓練を企画して、参加していただく。	6ヶ月
3	36	トイレにドアが無く、カーテンであるためプライバシーが保てない。	外側より中が見えにくく、入居者が気兼ねなく利用でき、且つ、介助しやすいドアの形状にする。	実際に利用している入居者、家族、介助を行なう職員の意見を聞き、寸法やドアの仕様を決定する。詳細を業者数社に伝え、希望に近いものを選定する。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。